

2024年8月9日

各 位

会 社 名 N I T T O K U 株 式 会 社 代 表 者 代表取締役社長 笹 澤 純 人 (コード番号 6145 東証スタンダード) 問 合 せ 先 取締役管理本部長 藤 田 由実子 (TEL 048-615-2109)

### 2025年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表した2025年3月期の業績予想を修正いた しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

# 2025年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
当初予想(A)	15, 000	1,000	1,000	300	16. 61
今回修正(B)	13, 500	10	20	190	10. 52
増減額 (B-A)	△ 1,500	△ 990	△ 980	△ 110	
増減率(%)	△ 10.0	△ 99.0	△ 98.0	△ 36.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	13, 162	1, 662	1,711	1, 103	61. 08

# 2. 2025 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
当初予想(A)	36, 000	3, 800	3, 800	2, 500	138. 38
今回修正(B)	34, 000	2, 550	2, 550	1, 900	105. 17
増減額 (B-A)	△ 2,000	△ 1,250	△ 1,250	△ 600	
増減率 (%)	△ 5.6	△ 32.9	△ 32.9	△ 24.0	
(ご参考)前期通期実績 (2024年3月期通期)	30, 803	4, 164	4, 280	2,744	151. 92

## 3. 2025 年 3 月期 第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2024 年 4 月 1 日~2024 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
当初予想(A)	10, 000	1,700	1, 400	77. 49
今回修正 (B)	8, 200	1, 300	1, 500	83. 03
増減額 (B-A)	△ 1,800	△ 400	100	
増減率(%)	△ 18.0	△ 23.5	7. 1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	10, 317	1, 737	1, 198	66. 36

### 4. 2025 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正

(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
当初予想(A)	25, 000	3, 750	2,850	157. 75
今回修正 (B)	22, 500	3,000	2, 500	138. 38
増減額(B-A)	△ 2,500	△ 750	△ 350	
増減率(%)	△ 10.0	△ 20.0	△ 12.3	
(ご参考) 前期通期実績 (2024年3月期通期)	22, 139	3, 753	2, 749	152. 17

#### 5. 業績予想数値の修正の理由

当社グループは、モビリティ業界を中心とした新たな技術革新に伴うユーザーの新規製品の自動化案件に対して、ユーザーと共に先端設備の開発を行っており、また従来よりも規模が大型化し、納期も長期化しております。

当期においては、新規開発要素(ユーザー開発製品の進化・変化)を含む案件の割合が多く、仕様変更への対応や品質調整に想定以上の時間を要したり、納品後の再改造対応が必要になる等、納期の長期化が複数発生いたしました。さらに、設備受け入れ時期の延期等も要因となり、売上時期が後ろ倒しとなったことにより、個別および連結の売上高および利益は当初予想よりも減少となりました。

なお、今後これら案件についてはリピート受注につながるものと考えております。

### 6. その他

配当予想(1株当たりの年間配当金42円)についての変更はありません。

当社グループは、新社長による経営方針のもと、早期業績回復に向け、競争力・マーケットプレゼンスの更なる向上を図る「ブラックオーシャン戦略」、即戦力となる人材の確保を目的とした「サテライト戦略」、シナジー効果によるビジネス・業容の拡大を企図した「M&A戦略」、半導体業界向けハンドラー装置や電池業界向け捲回機等の戦略商品ラインナップの拡充等を推進しております。また、PBRの向上も意識し、株価について常時注視のうえ株価対策を検討しております。投資家および株主との対話を重視し、適時開示やIR説明会、個別ミーティングを通してサステナブルな企業価値創造に向けた情報発信を行ってまいります。

### \*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、業績予想数値とは異なる可能性があります。開示すべき重要事実が発生した場合には、適時開示規則、当社情報開示基準に則り、速やかにお知らせいたします。

以上